

4052 地球のかおり：「情愛」(産経新聞) 心模様

偶然か、必然か、世の中には不思議な瞬間がある。

一度だけなら説明がつくが、ご縁なのか、

何度も、「どうして・・・」と思う瞬きの作品がある。

ドイツ、ロマンティック街道でのワンシーン。

多分、親子だろうと思うが、後方にペアーが写っている。

この対比、バックは、美しい湖水。

ひとり行脚、未知へのチャレンジ、ドイツ語は話せない。

いささか、気疲れもある。急ぐ旅でもない。

休息を取っていた時のシーン。

有難いことに、ひとり旅という旅のスタイルだからだろうか。

直感や気配を察知する感性があるように思える。

多分、あまりどうこうしようという気配でなく、自然体。

旅に出ると、変身できるように感じる。

ともかく、この地球上には、不思議な瞬間があることを何度も体験している。

まさに、ラッキー、スマイル、オン、ミーの瞬間。

人間、何かに気をとられていると、眼前の事が、お留守になる。

無心とは言わないが、集中。心が解放された、

心穏やかで、落ち着いた境地になれば、見えるものが違ってくる。

ひとり旅のメリットは、気づきやきっかけ、自分探し。

自然界の不思議や価値観はじめ、日本との違いをおしえてくれる。

海外雄飛、飛び出して来て良かった。

旅のスタイルが、ひとり旅なのが、良かったのかもしれない。

自分の心と、素直に会話できる。

ドイツ、ロマンティック街道、バロックの都、ヴェルツブルグから
アルプス山脈の麓、フュッセンまでの 350 キロの道中。

戦後、再現されたローテンブルグに象徴される、ドイツの中世が生きている街道。

ドイツの風情とは違う、不思議な瞬間に驚いたが、なごまされたのは事実。

夢なのか、なんとも不思議な出会いだった。

この作品、不思議なパワーを持っているようで、

お祝いなどにも使われ、何よりも、私自身がこのシーンのおかげで、

その後の旅の期待を、ふくらませてくれた記憶が生々しい。

たかが、一枚の作品だが、印象深い作品になった。

人間様、仲良きことは素晴らしいこと、仲良くしてくださいと・・・

何かを語りかけているように思えてならない。